

1.適用範囲 この規格は、橋梁、船舶、車両その他の構造物に用いる一般構造用の熱間圧延鋼材(以下、鋼材という。)及び熱間押出形鋼について規定する。

6.機械的性質 鋼材は、9.2によって試験を行い、その機械的性質は、次による。

a) 鋼板、鋼帯、平鋼及び形鋼の機械的性質は、表 3による。

b) 棒鋼の機械的性質は、表 4による。

ただし、形鋼(辺が70mm未満)及び平鋼(幅が50mm未満)の機械的性質は、次による。

c) 形鋼(辺が40mm未満)は、**附属書JA**による。また、形鋼(辺が40mm以上70mm未満未満)は、**附属書JA**によってもよい。

d) 平鋼(辺が40mm未満)は、**附属書JA**による。また、平鋼(辺が40mm以上50mm未満未満)は、**附属書JA**によってもよい。

なお曲げ性の場合、曲げ試験片の外側に亀裂を生じてはならない。

注記 曲げ性の試験の実施については、9.2.1を参照。

表 3 機械的性質(鋼板、鋼帯、平鋼及び形鋼)

種類の 記 号	降伏点又は耐力 a)		引張強さ N/mm ²	伸び			曲 げ 性		
	厚さ b), c) mm	N/mm ²		厚さ b), c) mm	試験片	%	曲げ角度	内側半径	試験片 e)
SS400	16 以下	245 以上	400~510	5 以下	5 号	21以上	180°	厚さの1.5倍	1号
	16 超え 40以下	235 以上		5 超え 16以下	1 A 号	17以上			
				16 超え 40以下	1 A 号	21以上			
	40 超え 100以下	215 以上		40 超え 50以下	1 A 号	21以上			
					4 号	23以上			
	100 超え	205 以上		50 超え	4 号	23以上 ^{d)}			

注記 1 N/mm² = 1 MPa

注 a) 特に指定がない場合、降伏点は、上降伏点(ReH)とする。また、降伏点が現出しないときは、耐力(0.2% オフセット法: Rp0.2)を測定する。

b) 形鋼の厚さは、試験片採取位置の厚さとする。

c) 図JC.1における異形平鋼の厚さは、形状Aでは t_1 とし、形状B及び形状Cでは t とする。また、これら以外は、受渡当事者間の協定による。

d) 厚さ90mm超えの鋼板の4号試験片の伸びの規定値は、厚さ25mm又はその端数を増すごとに、この表の伸びの規定値から1を減じる。ただし、減じる程度は3とする。

e) 厚さ5mm以下の曲げ試験は、3号試験片を用いてもよい。